

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社シオン			
所在地	東京都杉並区西荻北 2-3-9 6階			
業種	情報通信業			
常用労働者数	6人			
事業内容	出版全般、インターネット事業等			
ホームページ	https://www.cion.co.jp/index.html			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年8月8日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送付等）			
③回収率	対象者（都内全従業員）7名のうち回収数7名 回収率 100%（回収数/対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について アンケート調査により、介護を経験した従業員は全体の29%（2名）で、現在も介護を行っている従業員はいなかった。 ・今後の従業員の介護見込みについて 「介護をする可能性がある」従業員が71%（5名）、「今後することはない」が29%（2名）とであった。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内制度の認知状況については、「制度があることは知っているが内容はわからない」「制度があるかどうか知らない」が全体の58%であったが、「どのような制度があるか知っており、内容もおおよそわかっている」と回答した従業員も14%いた。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護をする可能性のある従業員の内、介護をすることに対して不安を感じている従業員は80%であり、介護をしながら現在の職場で働き続けられることができるかに対しては「続けられないと思う」が40%、「わからない」が60%の回答であった。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 将来的に介護の必要が生じたときの望ましい働き方としては「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら介護と仕事を両立する」という回答が86%と大多数であったが、一方で「今の仕事を辞めて介護に専念する」も14%あった。 			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年8月24日			
②メンバー	総計 2名（うち都内勤務の従業員 1名） （メンバー内訳）役員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	8月29日	13:00～13:40	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	8月29日	13:40～14:15	調査結果概要説明、目標案の掲示	2名
	8月30日	13:00～13:30	目標について意見交換、目標確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年 9月～ 介護休業や支援制度の利用ニーズについての個別面談を実施する				
令和4年10月～ 主に社内の介護休業制度についての研修を実施し、制度の周知を図る				